

雜 報

東宮殿下岡山醫科大學に御成

今回本縣に行啓遊ばされたる東宮殿下には岡山醫科大學へも 臨御遊ばさるることとなり本月二十三日午前八時五十七分同學に御着車、田中學長の御先導にて階上の御座所に入らせられ御少憩の後田中學長外六勅任教授に單獨拜謁を賜はり又別室に於て奏任教授、助教授及び講師等に列立拜謁を賜はり終りて御座所に於て學長より本大學の沿革大要、同大學の寫眞等を献上し、次で學長の御案内にて大講堂に入らせられ

上坂教授は

纖毛蟲の電流に反應する狀を台覽に供し其理由を述べ電流が神經纖維の再生に及ぼす影響を標本及び寫眞に就き御説明申上げ

鈴木教授は

一. 肝蛭及び其中間宿主。

二. 日本住血吸蟲(片山病々原蟲)。

日本住血吸蟲の成蟲、産卵狀態、顯微鏡下に游泳する「ミラチヂウム」、中間宿主「カタヤマ、ノゾフホーラ」の生活狀態と發見當時の同卷貝の標本、「ツェルカリヤ」の生態、「ツェルカリヤ」の皮膚侵入實驗と同切片標本、其他發育史一般及び日本に於ける日本住血吸蟲病の分布。

三. 肝臟「ヂストマ」。

肝臟「ヂストマ」の成蟲、人體肝に於ける肝臟「ヂストマ」、第一及び第二中間宿主の生活狀態、發育史一般及び日本に於ける同病の分布に就て御説明申上げ

生沼教授は

一. 龜の心臟の前房と心室とを各別の描寫槓杆に連結し其運動を記録せしめ置き迷走神經の刺戟によりて其運動の停止する狀態。

二. 蛙の筋神經標本を1秒毎に刺戟し夫れによりて起る筋肉收縮の大きさが漸次疲勞によりて減少する有様。

三. 「ガルヴェニ」鑷子による蛙の筋神經標本の刺戟。

四. 電波を「アンテナ」にて受け其電流によりて神經を刺戟し、電信符號を筋肉收縮によりて記録す。

- 近藤熊猪君 は今般伊豫國南宇和郡内海村に移轉開業せられたり
- 杉山貴一君 は今般小倉市板櫃町に移轉開業せられたり
- 風呂野澤一君 は今般廣島市觀音町に移轉開業せられたり

河村鼎君逝く 君は明治三十年岡山醫學專門學校を卒業し下關市東南部に於て開業し居られしが三月初旬遠逝せられたりと洵に哀悼に堪へず謹みて弔意を表す

渡邊友成君逝く 君は明治二十六年第三高等學校醫學部を卒業し暫く三重縣に於て開業し後歸郷本縣上道郡芳野村に開業し居られしが去月二十六日病を以て遠逝せられたりと洵に哀悼に堪へず謹みて弔意を表す

●岡山皮膚科地方會（第三回）（泌尿器科を含む）

來る六月五日（土曜）午後三時より岡山醫科大學皮膚科醫局にて開催す。多數の來會出演を希望す。尙ほ同日午後五時半より懇親會を開催する豫定なり。